

# 事業報告書

## 令和3年度版

令3年4月1日～令4年3月末日





# ～令和3年度の主な事業～

社会福祉法人 未来こどもランド

## 社会福祉事業

### 第二種社会福祉事業

保育所 練馬区立石神井町つつじ保育園

保育所 練馬区立光が丘第十保育園

小規模保育事業 すまいるベリー保育園

放課後児童健全育成事業 未来こどもランド学童保育

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる石神井

地域子育て支援拠点事業 子育てのひろば すまいる高野台

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ステップ

障害児通所支援事業 児童発達支援 すまいる・キッズ

障害児通所支援事業 放課後等デイサービス すまいる・ツリー

障害児相談支援・特定相談支援事業 未来こどもランド すまいる相談支援室

障害福祉サービス事業 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト

地域社会貢献事業 「みんなのカフェ」すまいる・ヴィヴィファイ

## ◆法人◆

### 1) 概 略

- 法人名 社会福祉法人未来こどもランド
- 所在地 東京都練馬区谷原5-22-2 MKLビル
- 代表理事 栗原三津子
- 設立認可年月日 平成26年4月8日
- 法人登記年月日 平成26年4月8日

### 2) 理事、監事、評議員

今年度の理事（6名）、評議員（7名）、監事（2名）は次の通り

理事長 栗原三津子

理事 岩瀬秀明 平山晴一 鈴木真 東江福江 香取寛

評議員 平田美穂 田中哲子 村上環 遠藤由美子 長島庫子 石井孝弘 上田ゆき子

監事 田淵順三 船越敏万

### 3) 理事会の開催状況と主な決議事項

#### 開催日時

令和3年6月9日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・令和二年度事業報告について
- ・令和二年度計算書類および財産目録について
- ・令和三年度における積立金について
- ・次期理事、監事候補について
- ・定時評議員会の招集について

令和4年2月25日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・就労継続支援B型すまいる・フォレスト移転と借入について
- ・就業規則・賃金規程の改定と追記
- ・評議員候補者について
- ・評議員選任・解任委員会の招集

令和4年3月23日

※コロナ感染対策実施下におけるズーム会議での開催

- ・令和三年度補正予算について
- ・令和四年度予算案について
- ・年度末決算理事会と評議員会の日程について

## 令和 3 年度 石神井町つつじ保育園

### 事業報告書

1 受託事業者名 社会福祉法人未来こどもランド 2 受託開始年月日 平成 18 年 4 月

#### 3 全体概況

法人と園の理念の実現に向けて、コロナ禍であったが、立案された保育計画は概ね実施をすることができた。

##### 【こどものために】

子どもの主体性を育む保育環境の在り方を 4 月に設定し、各クラス毎に工夫したところを発表し保育士間で共有した。子どもの遊びを発展させるために、子どもの高さに合わせて机や椅子の設置、姿勢の保てないこどものための背もたれの無い椅子の使用、子どもにとりやすい高さの棚の設置や机の表面の凹凸を削るなど、基本的な環境を整えた。玩具については、クラスの垣根を越えて貸し借りをしたり、使い方のアドバイスをし合うなどが出来た。0 歳児から 5 歳児の発達に見合う継続した玩具環境を考える保育士集団の第一歩となった。令和 4 年度に繋げていきたい。

一年間、コロナ禍に終始したが、子どもの教育環境を変更することなく継続してきた。園庭や園外保育で良く体を動かし、荒馬やリズムでは、5 歳児の体力が例年に劣らず、しっかりついていることが確認できた。運動遊びでは、様々の機敏な動きを外部講師と共に体得できた。鉄棒やマット運動、縄跳びやボール遊びなど、偏ることなく学ぶ事ができた。友だちとの関り方も小さい時からの丁寧な保育士による仲裁の継続が実現でき、3 歳児クラスになると相手の気持ちを知ったり、4 歳児クラスでは相手の気持ちに気づくようになり、5 歳児では自分の感情をコントロールすることができるようになってきている。落ち着いた幼児集団が見られる。

乳児は、身体を動かす欲求を満たす環境を大切にしてきたが、年度の後半は、特に多目的室の果たす役割は大きかった。夏の水遊びや戸外遊びなど活動的に実施し、2 歳児の後半には、友だちと手を繋いで近隣の公園へ歩いて行き、楽しむことが出来るようになった。保育では、話しかけや絵本の読み聞かせやふれ合い遊びを多く取り入れ、0 歳児から 2 歳児まで、発語から 2 語文、3 語文になり順調な発達が見られる。

##### 【保護者のため】

まん延防止措置期間の発令が出される状況の通園となった。園内のコロナ感染による休園は、年明けの 2 月中旬より頻繁になった。スマホでの一斉メールやコドモンの配信を全家庭がご覧になり、区や園の方針をよく理解され、従って頂き混乱は全くなかった。2 月中旬にコロナ感染に関わるオミクロン株に移行する時期に、玄関から保護者が入ることを制限し、園庭からの登降園に切り替えたが、協力を頂くことが出来、スムーズであった。保護者対応については、職員の「保護者に寄り添う」ことが浸透してきた結果、

問題もなく気持ちよく保育園に通って頂けた。保護者会は対面の開催が 1 回、後半は紙面開催となった。聴覚障害の保護者に配慮し、リモート開催はしなかった。園と保護者が子どもの成長を確認する「大きくなったね会」は、乳児、幼児とも、生の姿を見てもらえなかったため、次年度は、感染症の流行する前の 12 月に計画する。

【地域のため】

コロナ禍により、つつじっこクラブは 12 回の開催であった。一回、2, 3 組の親子の来園であったが、安全な場所として、楽しみにされていた。子どもカフェは、保育士・栄養士・看護師が 2 回ずつ、講座に参加した。見学会は例年の開催回数の半分であったが、97 名の方が来られた。

4 職員構成 様式 1 のとおり

5 年間行事実施状況 様式 2 のとおり

6 保護者との連携

(1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月
保健だより	毎月
えいようだより	毎月
クラスだより	随時

(2) 保護者会等実施状況

	保護者会	保育参観 (参加)	個人面談	その他 ( )
0 歳	5/24 (紙面開催) 2/22 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	
1 歳	5/25 (紙面開催) 2/24 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	
2 歳	5/26 (紙面開催) 2/25 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	

3歳	5/27 (紙面開催) 3/3 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	
4歳	5/28 (紙面開催) 3/4 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	
5歳	5/31 (紙面開催) 1/21 (紙面開催)	毎週水曜日	随時	

## 7 運営委員会等開催実績

	開催日	時間	会場
第1回	9月17日	18時半～	石神井町つつじ保育園 ホール

## 8 障害児保育

2歳児クラスと5歳児クラスで1名ずつ統合保育を実施した。今年度は2回にわたり巡回指導を受けた。2歳児クラスのアンジェルマン症候群の子どもが今年度の始めに入院をし食事が食べられなくなるなどの後退現象が見られ、かかりつけの総合病院の担当ドクターとリモートで、配慮することを相談できた。嚥下しやすい食事の変更については看護師と栄養士を中心に計画し、離乳食として進め、問題なく一か月程で、普通食にもどった。小茂根のリハビリ科に担当保育士が母親と一緒に見に行き、リハビリの実技に関する情報を保育に役立てた。年が開けた2月に座位保持器を病院から発注し、5月に出来る予定。現在も本児に正規職員が一人つき、寝返りや膝の上に座ることができないが、身体を活発に動かし、笑顔が多くみられる。背丈が伸びてきている。

5歳児クラスの結節性硬化症の子どもは、てんかん発作の回数保発作が減ってきたが突然の発作や指示の理解が難しい面があり、一対一対応としている。2回の巡回指導と発達支援センターの訪問支援を3回受けた。表情が豊かになり、名前を呼ぶと返事が出来るようになり、「どーも」「バイバイ」の仕草が出来るようになった。都立特別支援学校へ行くことになった。

## 9 職員研修 様式3のとおり

## 10 特別保育 様式4のとおり

## 11 地域との連携

(1) 地域との交流事業実施状況（子育て支援、ふれあい交流、家庭的保育者児童への給食サービスなど）

月	事業名	事業内容	参加者数
4月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	中止
5月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	中止
6月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	4名
7月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	中止
8月			
9月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	中止
10月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	7名
11月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	12名
12月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	30名
1月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	18名
2月	つつじっこくらぶ	地域交流（園庭開放）	6名
3月			

## 12 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

アレルギーガイドラインの変更から2年目となり、保護者も考え方や手順について理解が進み、スムーズに保護者から確認印を頂けるようになった。コロナ禍に在り、昨年同様、調理に携わる栄養士・調理員がコロナ感染者にならないように、換気をした部屋で、少人数にした休憩を交代でとり、黙食を徹底した。体調管理や消毒作業を怠らなく行ってきた結果、逼迫した状況は避けることができた。まん延防止措置期間は、ふれ合い給食や食育の制限があり、実施できない期間や活動が多かった。食育は、毎月一回、栄養士が紙芝居やエプロンシアターを使って、安全で大切な食べ物などの話しを幼児クラス向けに実施した。また園児にも、黙食やアクリル板を使って飛沫感染を防ぐよう各クラスと連携して進めた。

## 13 園児の健康管理

(1) 実施状況について

	実施の有無		実施の有無
健康診断（春・秋）	有	歯科保健指導 （講演会、歯磨き指導等）	有
0歳児健診（月1回以上）	有		
歯科健康診断（春・秋）	有		

(2) 感染症等への対応について

コロナ感染症対策の三密を避けることや手指の消毒などの基本を継続することを年度初めに保護者に周知し理解を求めた。職員へも同じように基本対策を守り、特に休憩時間はアクリル板で飛沫感染を防ぎながら、黙食を徹底することを求めた。さらに保育中の配慮として、三密を避けることや異年齢の交流や食育、外部との接触の制限などについては、練馬区感染症対策ガイドラインに沿って保育を進めた。またコロナ感染の陽性者や濃厚接触者が出た場合は、消毒作業を速やかに済ませ、手順書に従い状況を保護者と職員に周知しながら感染拡大予防に努めた。対策をとっていても、園内および家庭での感染は免れず、令和4年2月から3月にかけて、休園を繰り返すこととなった。休園のため、あるいは感染した場合に、仕事に行かれない保護者や登園できない園児の問題があった。また休園を繰り返す時期に大事な行事があり、二年に渡って例年通りの開催方法が出来なかったため、次年度は、その時期を外して行事を設定することとした。

14 個人情報（個人情報の適正な取り扱いや研修の実施などについてご記入願います）

コロナ感染症により全体会議が開催出来ず、区の個人情報セキュリティーの研修は紙面開催となり、例年より緊迫感を持って伝えることができなかった。カメラや児童票の持ち出しのチェック簿記入は、漏れることなく出来ていた。離席の時にカメラが置いてあったり、個人情報が見えてしまうなどが見られるので、ヒヤリハット事例として捉え、事故を未然に防ぐように努めたい。次年度は、紙面開催ではなく方針を伝えられるようにしていきたい。怪しげなメールが入ったことがあり、一層気を付けなければならない。

15 各規定の設定（有りの場合は○、無い場合は×）

情報公開に関する規定 （仕様書 15 に定めた内容として）	○
情報セキュリティーポリシーの規定 （情報システムを用いる場合に、仕様書 14 の 9 に定めた内容として）	○

## 令和3年度 事業報告書

1 受託事業者名 光が丘第十保育園 2 受託開始年月日 平成25年4月1日

### 3 全体概況

令和2年度に続き、3年度も新型コロナウイルス感染症による、まん延防止等重点措置が発令されたり解除されたりと不安定な年度だったため、常に状況をみながらどのように子ども達の安全を確保し、のびのびと生活できる環境を工夫していくかを全職員で考えてきた。父母会との恒例だった行事「子どもえんにち」について、中止ではなく可能な方法話し合ってきた。2年度と同様、保育園主催とし、1歳クラスから密にならないよう登園時間や参加時間を変えながら参加していただいた。かなり密になると思われるプール参観等は中止とし、運動会は幼児クラスのみ、各家庭2名の参加とし行った。保護者参加は無くしたが、様々な工夫により参加した感を多く感じていただくことが出来た。また3年度より、ズーム開催が出来るようになり、保護者会で活用する事が出来た。昼休み時間に合わせると、かなり出席者が多くなり感想もいただき、コロナ禍の方法としてかなり役たてることができた。

「大きくなったね会」は2年度と同様、ライブ配信で行った。遠くにいる祖父母も観ることができ好評だった。前日に準備する事が出来、また、子ども達も普段と変わりはい姿で演じることが出来るため子ども達にとってとても良かった。また、卒園式はコロナの感染者が増えた時期で、開催を一週間延期して行った。

陽性園児一人、保護者2名という状況ではあったが、これもズームで参加という形式で行うことが出来た、保護者が隔離中に自宅、ホテルからの参加となったが喜んで頂くことが出来た。

マスク、消毒アルコール液、ゴム手袋、アクリル板その他、感染症予防のための物品を購入し、使用方法も確認してきた。

しかし、年明けから、コロナウイルスの感染者が増え始め、休園になることがあったが、保護者はその点を理解してくれて、応援メッセージが届いたこともあった。

また、3年7月より、園児の登降園管理を「コドモン」にて行うようになった。園だよりをはじめ、配布物等はほとんどコドモンで配信し、保護者からの連絡も受けることが出来るようになった。また、連絡帳までは出来なかったが、クラスだよりで裏面をドキュメンテーションにし、保育士の意識向上、保育の質について考えるきっかけとなるようにしてきた。初めはなかなか進まなかったが、次第に子どもを見方が変わり、楽しめるようになってきたことは大きな進歩だと感じている。

SDGsについて今後、子ども達と話し合いながら取り組んでいく予定。

4 職員構成 様式1のとおり

5 年間行事実施状況 様式2のとおり

6 保護者との連携

(1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月、随時 年 12 回 ( )
保健だより	毎月、随時 年 12 回 ( )
えいようだより	毎月、随時 年 12 回 ( )
クラスだより	毎月、随時 年 12 回 ( )
	毎月、随時 年 回 ( )
	毎月、随時 年 回 ( )

(2) 保護者会等実施状況

	保護者会	保育参観 (参加)	個人面談	その他 ( )
0歳	4月7日 2月24日 (ズーム)	1日1名とし 9月開始12名参加	9月開始 10名	
1歳	5月11日 3月8日 (ズーム)	1日1名とし 9月開始18名参加	9月開始 15名	
2歳	4月20日 3月2日 (ズーム)	1日1名とし 9月開始15名参加	9月開始 10名	
3歳	4月21日 3月3日 (ズーム)	1日1名とし 9月開始12名参加	9月開始 10名	
4歳	4月22日 4月4日 (ズーム)	1日1名とし 9月開始18名参加	9月開始 12名	

5歳	4月23日 (対面) 1月14日 (対面)	1日1名とし 9月開始12名参加	9月開始 10名	
----	--------------------------------	---------------------	-------------	--

## 7 運営委員会等開催実績

	開催日	時間	会場
第1回	10月22日	紙面開催	10月28日保護者配布
第2回			
第3回			

## 8 障害児保育

<p>4歳児に3名、5歳児1名を受け入れている。一人ひとりの発達に合わせた支援をおこない、保護者と共に連絡を取り合い成長を見守っている。保護者の希望により、巡回指導の先生のアドバイスを一緒に聞き、発達や援助方法を共に学んでいる。</p> <p>職員会議の中で学んだことを共有し、園の職員全体で見守れるようにしている。</p> <p>4歳児クラス2名は双子で、保護者がかなり焦っている姿が見られるため、保護者と関わることを多くし、不安に思うことをなるべく聞き、自ら話してくれるような関わり方をしている。</p>
--

## 9 職員研修 様式3のとおり

## 10 特別保育 様式4のとおり

## 11 地域との連携

(1) 地域との交流事業実施状況 (子育て支援、ふれあい交流、家庭的保育者児童への給食サービスなど)

月	事業名	事業内容	参加者数
4月	無し		
5月	地域交流	子育て支援 一緒にリズム遊び	コロナ禍
6月	地域交流	子育て支援 リズム遊び、ふれあい給食	中止
7月	地域交流	子育て支援 セブンスコンサート	〃
8月	無し		〃
9月	地域交流	子育て支援 リズム遊び ふれあい給食	〃
10月	地域交流	子育て支援 リズム遊び ふれあい給食	〃

11月	地域交流	子育て支援 リズム遊び ふれあい給食	〃
12月	地域交流	子育て支援 人形劇を観よう！	〃
1月	地域交流	子育て支援 新年お楽しみ会を一緒に！	〃
2月	地域交流	子育て支援 一緒に鬼退治！	〃
3月	無し		

## 12 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

3年度アレルギー児5名。途中0歳児2名加わってが、1名解除になり最終的に6名になった。毎月アレルギー会議を行い献立表を全職員で確認している。献立表には一人ひとりを色分けして分かりやすいように記入している。

給食室に取りに行くときの注意事項、受け取る場合の確認方法も全職員で意識して行っている。プレートには除去食品と名前を明記し、台拭き、おしぼり、エプロンは全園児分を用意し、食器は3年度より区に対応で専用の食器を使用している。アレルギー児は別色、保管場所、洗濯も別にしている。

## 13 園児の健康管理

### （1）実施状況について

	実施の有無		実施の有無
健康診断（春・秋）	○	歯科保健指導 （講演会、歯磨き指導等）	○
0歳児健診（月1回以上）	○		
歯科健康診断（春・秋）	○		

### （2）感染症等への対応について

区の感染症対策マニュアルを全職員で確認し感染予防に努めている。感染症の情報収集を行うとともに保護者に情報を提供し、感染拡大を防ぐ意識の大切さを知らせている。インフルエンザ予防接種は全職員が行っている。また、新型コロナウイルス感染症のワクチンについては、園医の協力のもとはいよいよ段階で接種出来ている。保育士、職員が感染しないことがまず第一で、感染対策を徹底し、外からウイルスを持ち込まないために、通勤着から仕事着に変え、検温、消毒を済ませ保育室にはいることや大きな声でしゃべらない、密を避ける事、また日頃の生活で気を付ける事なども話し合っている。

保育室の衛生面では、安全性を考慮した電解水の使用やドーバパストリーゼを使用し、舐めたら直ぐに消毒できるように数カ所に設置している。

幼児クラスは全員マスク着用、2歳クラスも全員3歳になってからマスク着用としている。また、2歳クラスから食事テーブルにアクリル板使用。なるべく黙食となるよう声をかけている。保護者には練馬区感染症ガイドラインに沿って、協力していただけるよう説明している。

14 個人情報（個人情報の適正な取り扱いや研修の実施などについてご記入願います）

就業規則で個人情報保護法に基づく遵守が定められており、採用時に研修を実施している。保護者には個人情報の利用目的について説明し、承諾書を提出していただいている。職員会議では、身近なところから個人情報の管理について事例検討しながら管理の徹底について話合っている。

15 各規定の設定（有りの場合は○、無い場合は×）

情報公開に関する規定 （仕様書 15 に定めた内容として）	○
情報セキュリティーポリシーの規定 （情報システムを用いる場合に、仕様書 14 の 9 に定めた内容として）	○

小規模保育事業 A 型事業

令和 4 年 3 月 31 日

## 令和 3 年度 すまいるベリー保育園事業報告書

1 事業者名 社会福祉法人未来こどもランド すまいる・ベリー保育園

2 事業開始年月日 平成 27 年 4 月 1 日

3 全体概況

今年度も昨年に引き続き、練馬区保育施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに従い、感染症予防に努めた。保護者にもマスクの着用をお願いし、送迎の際には密集を避けるため、マンション口での対応は一人、正門口では二人までと人数制限をし協力を得た。また、子どもたちは年齢が低いため、マスクの着用はできないが、登園の際には児童の検温と手洗いを徹底した。保育者はマスクの着用と、手洗いの徹底、出勤前には各自健康状態を記入し、体調が良好であることを確認してから保育に入るようにした。また、保育中は換気にを十分にに行い、園内消毒（玩具、棚、柵、扉、床等）も徹底した。職員や児童が新型コロナウイルス感染症になり臨時休園することもあったが、感染を広げることなく最小限に抑えることができた。

利用定員については、4月当初は、2歳児8名、1歳児8名、0歳児4名、合計20名。年度途中での入園もあった為、最終的には2歳児8名、1歳児8名、0歳児5名。合計21名となりました。

職員体制については、新しい職員が1名入職した。コドモンの操作等（ドキュメンテーションを含む）に慣れるまではある程度時間が必要だと感じた。ドキュメンテーションについては、保護者に喜んで頂けた反面、限られた時間の中で日誌（活動記録、振り返り反省）連絡帳、週案等、その他保育の書類業務が多く、職員に余裕がないように感じた。今後は業務を見直して、効率化や改善に向けて職員間で話し合っていきたいと思う。（コロナ禍では、これまで以上に消毒や清掃を丁寧に行い、その他の業務も増えていることもある為）

職員の園内研修については、全員が研修に参加できなかったため、研修に参加した職員が参加できなかった職員に報告や発表をして、職員間で共通理解できるよう努めた。

研修に参加した職員の中には、職員間に留まらず、保護者にも伝えていきたいという思いから、研修で学んだ一部の内容をまとめ、資料を作成して保護者に配信した。保育実践にも活かされ、インプットしたことをアウトプットしていくことで学びが深まっていることを感じた。

食育については、食べるものを直接触れずに食育を進める方法を考えた。その日の給食に出る食材を2歳児クラスの子どもたちに見せたり、捨ててしまう野菜の皮や端の部分に触れたりした。また、2歳児クラスでは、野菜を育てて野菜に興味を示す姿が見られた。

保護者が参加する行事については、新型コロナウイルス感染症対策の為、全て中止となった。大きくなったね会については、子どもたちの様子（生活と遊び）を動画で配信して観ていただくことにした。

連携施設については、卒園後の受け皿として引き続き、白ふじ幼稚園・関町カトレヤ幼稚園と協定書を締結しているが、入園を希望する卒園児はいなかった。

保育内容の支援に関しては、上石神井第二保育園と協定書を締結している。ゴミ収集のスケルトン車を見学させていただく予定だったが、雨天のため参加することができなかった。来年度こそは、参加させていただきたいと考えている（2歳児クラスのみ）

代替保育（保育内容に関する支援および相談等を含む）の連携施設については、同じ法人内の石神井町つつじ保育園と連携に関する覚書を締結している。

石神井町つつじ保育園の看護師には、園児の健康面の相談や新入園児健康診断の手伝

いなどの協力をいただくこともできた。

業務改善と保育の質向上を鑑み、「コドモン」を導入しICT化を進めてきたが、日々の記録が多くなってしまい、事務負担の軽減には至らなかった。業務改善については課題があるので、今後は職員間で話し合いより良い方法を生み出していきたい。保育の質向上については、ドキュメンテーションを導入したことで保育士の子どもの見方が変わり、子どもの興味関心を捉えた子ども主体の保育に取り組むことができた。

コドモンについては、今後も保護者に子どもたちの様子をわかりやすく伝えられるよう工夫していきたい。また、コドモンに対しては、システム上不便なところ多々あるので、より良いものになるよう要望書を申請し、システム改善（業務改善）に繋がる努力をしていきたい。

#### 4 保護者会等実施状況

- ・保護者会⇒5月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下で登園自粛中の為、中止とした。  
新入園児も含め、友達のことを知ってもらうために、子どもの姿を写真付き自己紹介をお便り配信した。
- ・個人面談⇒10月に保護者のお迎え時間帯に合わせて実施した。（希望者や普段じっくりと話ができない保護者対象）保護者が悩んでいることがわかり、保護者支援へと繋がった。  
気になる児童に対しては、個別で声がけをして面談を実施した。

#### 5 保護者との連携

##### (1) 各たよりの発行状況

名称	発行回数
園だより	毎月

クラスだより	毎月
えいようだより	毎月
ほけんだより	毎月

## 6 地域との連携

### ・地域交流・地域子育て支援

項目	実施内容	実施回数 参加者
地域交流	新型コロナウイルス感染症対策の為、積極的に地域交流を実施できなかった。	0回
地域子育て支援	保育所体験	0回
地域子育て支援	出産を迎える親の体験学習	0回
地域子育て支援	小中学生の育児体験受け入れ	0回

※地域交流に関しては、新型コロナウイルス感染症が流行る中で、直接触れ合うことなど積極的な地域交流はできなかったが、近隣の方や散歩先で出会う方々にこちらから気持ちよく挨拶するよう心がけた。

## 7 給食（アレルギー対応や安全、衛生管理について）

<p>食物アレルギーの対応マニュアルを職員に配布して周知しているが、食物アレルギー対象児はいなかった</p> <p>衛生管理については、衛生管理表に基づき、日々チェックを行い、安全で安心な給食づくりを徹底した。また配膳する保育者や非常勤職員も身支度をマニュアル通りに徹底し、配膳時も衛生面に十分配慮してきた。</p>
--

## 8 園児の健康管理

	実施の有無
健康診断（春・秋）	有

今年は新型コロナウイルス感染症対策の為 9月・1月に変更	
身体測定（月1回）	有

## 9 感染症等への対応

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、園児に対しては、登園の際に検温を実施し、入室の際や食事前は丁寧に手を洗うよう援助してきた。子どもも大人も除菌作用のある液体石鹸での手洗いを実施し、各手洗い場と玄関には手指のアルコール消毒を設置した。

保護者には、送迎の際にマスクの着用をお願いし入室も控えていただき、荷物の支度などは全て保育者が行うようにした。また、送迎の際の対応は、マンション口は一人（ひと家庭）正門口は2人（ふた家庭）までとし、密集しないよう保護者の協力を得ながら、人数制限を設けた。

職員についても、マスクの着用と手洗いの徹底し、出勤時には健康チェック表に体温等健康状態を記入し、体調を確認してから勤務に就くようにした。

室内の換気や床、飛田、棚、柵、テーブル、椅子、玩具など園内の消毒も徹底したし、食事の際は、クリアパーテーションを設置し、飛沫が飛ばないように配慮した。

見学者にも健康チェック表を記入してもらい、健康であることを確認してから入室してもらうようにした。（できるだけ大人1名での見学をお願いした。）

※「練馬区保育施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に従い対応した。

## 10 個人情報について

就業規則に個人情報保護法に基づく法令の順守を定め、採用時に書面で確認している。

児童票などの保育書類やタブレット、パソコン、カメラは事務所の鍵のかかる場所に保管している。

カメラの使用時、返却時には「カメラ持出し表」に日付、クラス、名前、持出し時間、返却時間、持出し理由を記入し返却忘れが無いよう徹底した。保護者には、個人情報の利用目的について入園の際に「個人情報提供同意書」を全世帯から得た。保護者に対しては、ネットでの写真やその他の個人情報を流出、公開することのないようお願いした。

## 放課後児童健全育成事業

### 令和3年度 未来こどもランド学童保育 事業報告

◆定期利用児童 6名

◆一時預かり枠登録者（定期スポット、単発スポットを含めて） 15名

◆対象児童 小学1年生～小学6年生

日々、アットホームな保育を心がけており保護者との連絡や連携を密に持つよう心掛けている。子ども達の心の安定、日々の健康に留意して学校生活、宿題、遊びとメリハリのある生活ができるよう職員も気を配って保育をしている。今年の夏休み、冬休みの長期休み利用者は例年より減少し、定期利用の児童数も減少している。

コロナ感染拡大防止の為、密にならないように心掛け換気も十分に行う。感染状況に波はあるが長期休み中は今までより少し減らしたイベントを計画し子どもたちが楽しめるよう行事を行った。

## 地域子育て支援拠点事業

### 民設子育ての広場 すまいる石神井 令和3年事業報告

◇開催曜日： 月～金

◇公園遊び： 令和3年度実施なし

◇開催時間：10時～15時（12時～13時は消毒の為一時閉館）

子育てひろばでは、毎月イベントを開催し多くのお子さんや保護者の方に来館して頂いたがコロナ感染拡大防止の為予定していた講座は回数を減らした。緊急事態宣言が解除された際は人数を制限し季節に応じたおたのしみタイムを開催した。

「おたのしみタイム」では手遊び・絵本の読み聞かせの他、季節の行事を取り入れ親子で思い出に残る製作を行った。防災センターの方にも来てもらい講話や乳幼児向けの応急処置方法教えてもらった。

また、孤育てにならないよう、保護者の方に寄り添い少しでもサポートできるようにこれからも取り組んでいきたい。

コロナ感染拡大防止の為、室内・おもちゃの消毒の為12時～13時まで一時閉館と今までとは違うひろば開催になった。区の方針によっては引き続き対策をしながら開催していかなければならない。

## 民設子育ての広場 すまいる高野台 令和2年事業報告

- ◇開催曜日： 月～金
- ◇公園遊び： 令和二年度は開催なし
- ◇開催時間： 9：00～14：00

4月から週5日開室になった矢先、コロナの影響に第1回目の緊急事態宣言が発出され、4月8日～6月7日まで閉館となった。

その後は、午前部、間に11:30～12:30までを消毒・清掃タイム、午後部、の二部制で登録番号の偶数奇数を利用し予約制5組までの利用とした。3密を避け、消毒を徹底して開室している。

利用状況によって、午後の予約をなくすなどしてなるべく偏りなくたくさんの方に利用してもらえるよう工夫しながら運営している状況。

お楽しみ会、イベント、講座等は3密を避けるため中止し、対面で行わない工夫をしながら、利用者の皆さんに季節の行事に触れてもらう機会を設けるようにした。

コロナもまだ終息が見えないので、利用者の皆さんが安心して遊んでいただけるような環境づくりを続けていきたいと思う。

## 指定特定相談支援事業・障害児相談支援事業

### 未来こどもランド すまいる相談支援室 令和3年事業報告

利用契約者数 令和3年3月末日現在 340名

職員人数 管理者・相談支援専門員：1名 事務：1名

#### 活動内容

定期的に保護者の方と面接を行いお子さんの今の状況を聞き、利用したい希望のサービス内容を盛り込んだサービス計画案を作成し、他にも必要な場合には情報提供を行ってきた。

半年に1回の継続利用者へのモニタリングも行い、利用者の要望を聞くようにする。

また次年度も引き続き、利用者のニーズだけではなく何が必要かを見極め、適切な計画書を作成していきたいと思う。

来年度に向け、相談員の引継ぎを丁寧に実施している。

# 障害児通所事業

## 令和3年度 放課後等デイサービス すまいる・ステップ事業報告書

利用定員 1日10名

利用契約者数 25名

職員人数 8名

児童発達支援管理責任者（保育士）1名 保育士4名 児童指導員 2名 指導員1名

利用実績表（実際に利用した人数）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
実績数	250名	222名	254名	240名	215名	208名	1,389名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
実績数	239名	224名	212名	142名	158名	230名	2,594名

### 全体概況

- ・感染予防対策を取りながらの1年間。前半はお休みする利用児がほとんどなく、昨年を上回る利用数となった。1月になり、一部の学校で学級閉鎖が見られた。陽性者の対応として利用の自粛をお願いすることとなり、ご家庭で見られない児童のみ保育を行った。子供たちのマスク着用については、車内ではほぼ全員ができるようになった。遊びの中では難しい利用児もいるため、おやつ時の黙食と部屋の換気の徹底を行っている。
- ・日々の活動では、常に会議において改善案を職員全員が提出してより良い療育を目指して話し合いを行っている。

### 年間の活動状況

- ・夏休みの一日保育は、昨年に続きコロナ禍のため室内での活動に変更。音の輪さんに来ていただき、「ドラムサークル」を実施したり、縁日遊びを行った。
- ・年に3回のお楽しみおやつを実施。とうもろこしや枝豆などの季節の食材を味わう機会を設けた。手袋を使用してではあるが皮むきなどを経験し、大人気のおやつとなった。
- ・ツリーとの合同イベントは中止。谷原の体育館を借りて、サーキットや集団遊びを実施。
- ・保護者会は中止。
- ・年2回の保護者面談は、「電話・対面・書面のみ」の選択希望を取り実施。
- ・保護者支援については、電話による相談が例年より多くよせられた。また気になるお子さんについては、こちらから電話をかけて自宅や学校での様子を聞き取り、情報共有を心掛けて行うようにした。

## 令和3年度 放課後等デイサービス すまいる・ツリー事業報告

利用定員 1日10名

利用契約者数 20名

待機登録者数 1名

職員人数 7名

児童発達支援管理責任者1名 保育士1名 児童指導員 3名 指導員2名

利用実績表 (実際に利用した人数)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
実績数	190名	164名	201名	178名	171名	173名	1,077名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
実績数	189名	183名	181名	164名	137名	201名	2,132名

日々の活動

レクリエーション ゲームなどをしながら他者意識の向上を図る

輪投げ、タオル引っ張り、クイズ、ポッチャ、玉入れ等

音楽

馴染みのある曲に合わせて楽器を演奏したりダンスを楽しむ

季節の音楽、民族楽器、中高生に人気の曲でダンス

買い物

実際に近所のコンビニを利用して、公共のマナーを学び、支払いの練習を行う

200円でアイス、ホットスナック、スイーツから選んでいる

読み聞かせ

季節や風習にまつわる絵本や紙芝居を見たり読んだりする

絵本・大型絵本の読み聞かせ、利用者に前に出てきてもらい紙芝居を読んでも

らう

運動

体の動かし方や使い方を覚えて楽しく運動を行う

ラジオ体操やストレッチ体を伸ばし、サーキット運動やボール運動を行い、ゲーム感覚で体を動かす

避難訓練

年5回実施。火災時と地震時に備え、ヘルメットを被り避難経路を知る

年に2回非常階段を使用して避難する。また体育館で発生した場合も練習した

工作

ハサミやのりなどの道具を使用し、年賀はがき、七夕飾り、ポストカード、クリスマス飾り、卒業生へのプレゼントなど、季節に関する作品をメインに作業を行う

#### 今後の課題

中高生が在籍するデイサービスとして、将来に向けて自立に向けた支援。本人主体になるように自己選択、自己決定の経験を積めるようにさりげない支援をする。毎年変わる利用者に合わせて課題設定や支援を職員同士で話し合い、方向性の統一をしていく。また、利用者一人一人の気持ちに寄り添いながら、質の高い支援を提供できるように、利用者の様子や日々の変化など、職員間でしっかりと話し合いながらコミュニケーションを取ることを心掛けている。

## 令和3年度 児童発達支援 すまいる・キッズ 事業報告

利用定員	10名（1日）
利用契約者数	29名
職員人数	5名 管理者及び児童発達支援管理責任者1名 保育士3名 ・ 作業療法士1名

### 利用実績数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	半期合計
実績数	298	275	335	291	298	323	1820
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～3月合計
実績数	324	316	275	246	168	301	3450

※利用実績数は体調（利用児、保護者、兄弟）、行事（幼稚園、保育）、天候等により変動する。

### 新型コロナウイルス感染症関連

#### 【利用児の様子】

コロナ禍2年目ということもあり、保護者の感染対策や体調管理への意識に温度差が見られるようになった。だが、幼稚園（保育園）の体調管理の厳しさと陽性者が出た場合の閉所対応が継続していることで、例年であれば流行する疾病が減少しそれが年間を通しての利用実績数の増加につながったと考えられる。

#### 【保護者対応】

保護者会、保護者交流会については、令和2年度同様中止としたが、就園児保護者対象の保育参観は、1日1組に限定し、検温、手指消毒、室内換気の徹底の上で実施した。（8月と1～2月）

例年、保護者交流会の中で行っていた就学に向けた情報提供（就学相談や就学支援シートの活用・放課後等デイサービスの紹介等）は、年長児保護者との面談の中で丁寧に行うように努めた。就学先決定への迷いや、就学への不安感が強い保護者に対しては、定期面談以外にも、その都度時間を設け、話しを聞いたり寄り添うようにしてきた。

#### 【陽性者対応】

1月より利用児と、その保護者や兄弟の陽性者が増加し、2月中旬には同時期に複数人の陽性者（職員を含む）が発生した。3日間閉所し、その後も段階的に開所することで、それ以上の感染拡大を防ぐことができた。

### キッズだより

前年度の事業所評価を受け、不定期に発行していた『キッズだより』を毎月発行し、併せてホームページのブログ欄にも掲載するようにした。季節の製作物（こいのぼり・七夕・お月見・クリスマス・ひな祭り）や、療育内容（一部抜粋）を掲載することで、利用児保護者には、製作のねらいの理解や次回の通所意欲につながるよう、ホームページ閲覧者には、今後の新規利用につながるようにと考えている。

# 障害福祉サービス事業

## 2021年度 就労継続支援B型 すまいる・フォレスト事業報告書

### 事業目的

利用者が日々笑顔で毎日を過ごせるように、働く生活を通じて、自立に必要な「生活力・仕事力・余暇力」の知識や技術を育成し、「社会力」を身に付ける事で「人間力」の向上を計り、「自己実現」を目指す。また、集団生活を通じてコミュニケーション能力の向上を図ると共にルールやマナーを身に付ける事で「協調性」を養っていく。利用者の「人生を豊か」にしていく。

### 利用定員

1日20名

### 利用契約者数

19名（新規契約者5名・退所者7名（特例子会社就職1名を含む））

### 待機登録者数

0名

### 職員人数

7名

- ・管理者（施設長・社会福祉士）1名 ・サービス管理責任者（保育士）1名
- ・目標工賃達成指導員 1名 ・職業指導員（介護福祉士）1名
- ・支援員（非常勤職員）3名

\*職員退職者なし

### 作業・活動計画

#### \*週間での取り組み

#### ・受注作業

クロネコDM便・石神井図書館外周清掃・チップ作業(2種類)・電気部品作業・純粉糖袋検品・各種封入作業・各種グローブ作業・フラワーベース制作・ふちどり作業・各種単発作業等

#### ・生産作業

絞り染エコバック、Tシャツ、ストール・壁紙ノート・くるみボタン製品・刺繍製品・季節イベント製品等 \*クルミルショップからの発注・納品

#### ・食品作業

受注系…イチゴジャム、イチゴドレッシング、玉ねぎドレッシング、紫人参ドレッシング、イチゴバター等…練馬区農福連携

生産系…オリーブオイル、各種はちみつ、ハーブソルト、クッキー等

#### ・外部就労

カフェ業務等

#### \*月間の取り組みx

- ・ねりいち（月2回程度）

- ・余暇活動 毎月最終金曜日
- ・社会人マナー 毎月第2金曜日
- ・身体測定 毎月第3金曜日（体重、血圧）

### **\*3 カ月毎の取り組み**

- ・ケース検討会 8月・9月・3月2回）PM13：30～17：30（今年度は6ヶ月毎に2回）
- ・作業評価表検討
- ・避難訓練（不定期、無連絡にて実施）
- ・職員面談（1名15分程度）

### **\*6 カ月毎の取り組み**

- ・個別支援計画書作成
- ・工賃検討会
- ・家族会 9月、3月、第2土曜日10：00～11：30にリモート形式で実施
- ・委託展示販売（がむしゃら、われもこう等）
- ・販売会（Tジョイ販売会、パスコートマルシェ等）

### **\*法人連携の取り組み（法人連携）**

- ・法人内保育園の卒園児用コサージュ等の制作販売
- ・法人内保育園タオル、Tシャツ、エプロン等の刺繍等
- ・法人内カフェでの生製品の販売
- ・各保育園、事業所の保護者会等で生製品の販売

## **今年度の作業・活動計画の結果と課題**

### **\*週間での取り組み**

- ・受注作業、生産作業は実施計画欄にて記載
- ・余暇活動、社会人マナーは実施計画欄にて記載
- ・外部就労（カフェ業務等）については、週5日4名の利用者が曜日別に担当出来ようになっている。

### **\*月間の取り組み**

- ・今年度もハッピースマイルフェスタはコロナ禍のため開催のないまま終了した。コロナ禍の影響は続いているが、来年度以降に期待したい。
- ・今年度のねりいち「非常事態宣言、まん延防止等重点措置」中でも中止しなかったので月2回程程度の参加が出来た。区役所以外でも「ココネリinねりいち」や「図書館inねりいち」など販路を増やしてくれているので積極的に参加していきたい。
- ・余暇活動は、実施計画欄にて記載。
- ・社会人マナーは、実施計画欄にて記載。
- ・身体測定は、体重、血圧を毎月実施した。今後も継続していきたい。

### **\*3 カ月毎の取り組み**

- ・ケース検討会は、切り替え時期前の2カ月の8月9月、2月3月のPMを休みにして実施した。2月はコロナ禍の影響で延期となり予定を変更して3月に2回行った。検討、作成期間を考えて来年度も同時期に実施していきたい。
- ・作業評価表、利用者面等は、コロナの影響で単発作業が増えた事により予定していた評価表での実施が難しかった。新たな評価基準等の検討が急がれるが来年度以降の課題としたい。
- ・避難訓練は、不定期にした分、やらない月があったので来年度以降は年間計画に記載して計画的に行っていきたい。
- ・職員面談は、3カ月毎に実施した。利用者同様、職員の働きやすさ、やりがいを考える事でより良い支援に繋げていきたい。

### **\*6 カ月毎の取り組み**

- ・個別支援計画の作成は、利用者面談、ご家族の聞き取り、ケース検討会を経て作成をした。まだコロナ禍の影響で不十分な点も多々あるが世の中の情勢や環境を整え来年度は丁寧な取り組みをしていきたい。
- ・工賃検討会は、コロナ禍の影響で単発作業が増えた事もあり、従来の評価基準に類似した考えで担当職員が行った。来年度は、現状の作業に対応出来る評価基準表を作成して評価する職員も増やしていきたい。
- ・家族会は、9月3月にリモート形式で行った。コロナ禍の影響が主な理由だが、同居家族以外の参加者が増えたり、リモートが苦手な方の不参加も見られ参考になる年度となった。来期以降は、ハイブリット家族会を検討していきたい。
- ・「がむしゃら」の委託販売は、4月5月6月と3か月継続して行えた。また、「ハッピー運営事務局」よりあかねの会が運営する「われもこう」で委託販売の話があり、1月より実施している。今後については、参加事業所の持ち回りになる予定。
- ・Tジョイ、パスコートマルシェ等の予定していた販売会以外にも練馬区の合同販売会や法人イベント、オリパラ販売会、西武マルシェ等の参加を行った。継続、単発販売会も含め来年度以降は土曜出店の検討も含め販路を拡大していきたい。

### **\*法人連携の取り組み（法人連携）**

- ・法人内保育園からは、卒園用コサージュを始めTシャツ、エプロン、タオル等の刺繍等の協力があり売り上げに貢献してもらった。来年度以降も継続してもらえるように商品向上に努めたい。
- ・法人内カフェでは、常時生製品の販売を行った。新たな食品商品も加わり売り上げ向上に繋がっていた。来年度以降も継続していきたい。
- ・各保育所、事業所の保護者会等への生製品の販売参加はコロナの影響があり、今年度も相談する状況ではなかった。来年度以降も見通しは持てないが将来的には各保育所、事業所と連携をとり実施を検討していきたい。

## 今年度の実施計画

### \*利用者確保…

地域貢献も含めて、今後も見学・実習等は継続して受けて行くが、利用者の曜日別利用実績をトータルバランスで利用契約を進めていく。必要に応じては23~25名程度までを定員として日々の利用者人数を18~20名にしていく。また、日々の支援を進めながら精神系の方の利用曜日を増やしていく。

### \*受注作業…

レインボーワークからの新たな作業の紹介をベースに高収入の作業への移行を目指す。現在の取引企業と信頼関係をベースに新たな作業のお願いや賃金交渉、単独営業としては、良好企業から新たな関係企業の紹介等のお願いをしていく。

また今年度は、コロナ禍の影響や利用者増に伴い、レインボーワークだけではなく、地域信用金庫等との連携で自主的な営業活動等にも取り組み、新規受注先を開拓していく。

### \*生産作業…

コロナ禍の影響で、ハッピースマイルフェスタなど予定していた販売会が中止・延期の可能性はある。クルミルショップへの出品を含め、ねりいち、Tジョイや令和2年度より行っているパスコートマルシェなど継続して販売会に参加していく。商品開発も令和2年度に食品作業が加わり、主力4商品となっている。農福連携の関係もあり、商品開発等に力を入れていく。またその中で、通信販売の検討や在庫管理の徹底、部材、材料等のコスト、購入等も意識して収支に見合う商品開発や商品数を意識して行っていく。

### \*余暇活動…

今年度は、8月を除く最終金曜日に実施していく。「午後だけの余暇」「イベント余暇」「フリー行動余暇」と目的を分けて、より利用者の自主的行動に繋がる内容と作業を含めた楽しみの体験の時間としていく。また、年に1回のバスツアーや利用者アンケートは引き続き行う。しかしコロナの影響は見通しが持てないので年間を通じて時期に応じた変更等を柔軟に行っていく。

### \*一般就労（体験）…

対象利用者さんには、定期的に法人内カフェの店員体験を平日5日間交代で行っていく。また、法人内保育所の用務補助・保育補助等の見学、実習等も検討。レインボーワーク主催の障害者企業見学会等にも参加していく。また、必要に応じて東京都障害者職業センターでの実習等への参加もしていく。これらを通じて、今年度も1~2名の一般就労や就労移行支援事業所へのステップアップを目指す。

### \*利用者工賃…

令和2年度利用者平均工賃実績は、¥11,872だった。コロナの影響は大きかったが収入的には令和元年度よりも増えていた。対象利用者が増えている事や工賃の基準判定の変更により大幅な減額となった。東京都のB型の平均工賃も下がると思われるが、受注、生産作業共底上げをして月額

の収入目標を¥300,000程度にする事で、今年度の利用者平均工賃の¥13,000～¥13,500程度を目標にしていきたい。

## 今年度の実施計画の結果と課題

### \*利用者確保

コロナ禍の中、見学・実習は状況を見ながら可能な限り行ってきた。日々の利用者人数を18～20名にしていく予定だったがコロナの影響もあり14～15名程度となった。精神系の方は、時間を掛けながら出勤日を増やす利用者がある一方、不安や体調不良になる利用者も多く見られた。コロナの影響は続くが来年度以降も在籍22～23名。日々の利用者人数を18～20名を目指していきたい。

### \*受注作業

受注作業では、昨年度に比べ継続作業先が少しずつ物量は増えてきている状態。しかしコロナ前までには戻っていない。今年度も昨年同様の単発作業や新規開拓を行った。レインボーワーク以外でも不定期だが「タオル折り」や「封入作業」を頂ける企業さんと契約を行った

### \*生産作業

コロナ禍の影響で、ハッピースマイルフェスタなど予定していた販売会が中止となった。クルミルショップへの出品を含め、新たな販売会への参加や委託販売先を増やしたことで生産作業の時間も商品開発も令和2年度に食品作業が加わり、主力4商品となっている。農福連携の関係もあり、商品開発等に力を入れていく。またその中で、通信販売の検討や在庫管理の徹底、部材、材料等のコスト、購入等も意識して収支に見合う商品開発や商品数を意識して行っていく。

### \*余暇活動

「イベント余暇・フリー余暇・午後余暇」と目的を変え、利用者さんアンケート等も実施して年間計画を立てたが、月によっては中止、変更等が多かった。しかしバスツアーは実施でき、日光猿軍団、リンゴ狩りなど1日楽しむことが出来た。来年度も見通しは立たないが月毎に検討して実施していきたい。

### \*社会人マナー

これまでは、入所時期に4回程度紙面で行っていたが、今年度より、毎月1回午後の時間を利用して動画による社会人マナーを実施した。職員がテーマに沿って動画を録画して利用者が視聴後に感想等の意見交換等を行った。来年度は、視聴から利用者同士で模擬体験を行う事も検討していきたい。

### \*一般就労体験

コロナ禍であったが、法人内カフェでの店員業務は月曜日から金曜日の5日4名の利用者が曜日を決めて継続的に行った。しかし、それ以外の予定は、実施することは出来なかった。

## \*利用者工賃

作業（受注作業・生產品等売り上げ）に伴う毎月の収入

前期	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実績額	¥284,790	¥459,076	¥313,008	¥265,980	¥261,079	¥353,788
後期	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実績額	¥182,677	¥342,916	¥229,657	¥211,827	¥218,961	¥543,520

\*生產品の材料費が相っているため純収益は¥3,667,279ですべて利用者さんに還元しています。

\*平均工賃…¥15,092

## 農福連携

令和2年度に引き続き、伊東市の社会福祉法人クープの就労継続支援B型のプラウ（河合農園）の連携で無農薬の有機栽培のオレンジとレモンではちみつシリーズを作り販売していく。ハーブオリーブオイルのローズマリーは自主栽培（無農薬）で作っていく。

また、令和2度より練馬区内のかとちゃんファームよりレインボーワークを通じての農福連携でイチゴを使った商品食品ロスを減らすための企画をたてて商品開発した。具体的な商品としてはイチゴジャム、イチゴドレッシング、玉ねぎドレッシング、ニンジンドレッシング等。

令和2年度より実施しているので令和3年度は商品化と販売に力を入れていきたい。

商品については公益事業のカフェを通じて試食や販売促進し地域の多くの方に知っていただく工夫をしていく。

## 農福連携の結果と課題

はちみつシリーズについては、すまいる・ハチミツという名称で、念願だった練馬区のねりコレに応募し、みごとに認定された。今後の販売が期待できる。

また、オリジナルとしてハーブソルトとハーブソルトペッパーを新商品とし、また、オートミールクッキーも商品化し、レパートリーが増えている。

農福連携は使用する野菜によって時期が違うことより、定期的でも単発で短期間の販売となりやすい。今年度は新たな加藤農園との農福連携がスタートし、紫にんじんだレッシングやいちごバターを商品化した。紫人参ドレッシングは飲食店のジターリアフリップもコラボし、こちらのレシピで試食していただき、味にお墨付きをもらい、三者のコラボ商品として売り出し、かなりの人気商品となっている。連携することによる波及効果が非常に高い。飲食店も一体となって協力し合うことで、売れ行きの違いがあるので、今後も継続しながら、連携場所を増やし、通年、農福連携ができるようにしていきたい。

また、加藤農園との単独のいちごバターも商品化に至った。

## 関係機関等との連携

\*見学・実習・相談等…

レインボーワーク・練馬区保健相談所・練馬区福祉事務所・練馬区内特別支援学校・近隣保健相談所・近隣福祉事務所・近隣特別支援学校・区内精神科病院（デイケア等）・就労移行事業所・就労継続支援B型・グループ・ホーム等

#### \*一般就労等…

レインボーワーク・池袋ハローワーク・東京都職業センター・東京ビジネスサービス株式会社、各種見学企業等

#### \*農福連携に伴い…

伊東市の社会福祉法人クープの就労継続支援B型のプラウ（河合農園）・練馬区大泉のかとちやファームなど

#### \*地域信用金庫等…取り扱い企業等の紹介等

### 関係機関等との連携の結果と課題

#### \*見学・実習等

今年度も各関連施設からの見学、実習に伴う問い合わせ等は多数あった。コロナ禍の影響で見学や実習の延期、中止をする事もあったが、旭出学園専攻科の学生や石神井心のクリニック、福祉事務所、保健相談所等からの紹介で契約にも結び付いていた。今後も法人理念や社会貢献も含め、見学者や特別支援学校実習生等は受け入れて行きたいと考えている。

#### \*一般就労等

今年度は、7月にカルディコーヒーの特例子会社である「キャメルコーヒー」へ1名就職することが出来た。カフェ勤務体験からご自身で選び、ハローワーク、選考、面談、実習等を担当職員と行った。就職後も1週間、1カ月、3カ月、6ヶ月の4回様子を見に行き、就労定着支援事業所に引継ぎを行った。今後も利用者の希望を主に1年に1名程度は一般就労へ繋げていきたい。

### 今年度まとめと来年度に向けて

今年度も昨年同様「新型コロナ」の影響が事業計画全般で見られた。

2月には、事業所内で陽性者が複数名出て、健康観察のための閉所や密を避けるための半日対応等を行い、利用実績、収入、作業納期等で様々な影響が出ていた。

来年度に改善、終息する見通しは持っていないが、移転予定先の事業所スペースが広がるのでコロナ対応にも有効利用して行きたい。また、今年度は第三者評価の年でもあったが、一般就労につなげたことや、農福連携などを活用し、コロナ禍で仕事が減ってしまっている中、作業や生產品やカフェなどを活用しながら食品加工をすることで工賃を下げないようにできていることは素晴らしいという評価を得た。法人の機能を活かして保育園からの刺繍の仕事依頼や、生產品などの注文があることにより、地域への活動にも参加することとなり、とても良い仕組みであるとのこと。引き続き、フォレストの方針に沿って支援を行う事が利用者にとってより良い生活につながっていると思う。

活動・計画面では、受注作業は、継続作業の多少の改善は見られたが、引き続き単発作業や新規開拓を行い、「作業がない状態」は回避出来ていた。生産作業では、ハッピースマイルフェスタは

年間中止となったが、ねりいちを主に新たな販売会への参加や委託販売も拡大できた。受注、生産両面で捉え方の出来る食品作業で収入面増の切っ掛けになっているので来年度以降も力を入れていきたい。

実施計画面での利用者確保については、新規利用契約者5名、退所者7名（一般就労1名を含む）で年度最終在籍者数は19名となっている。現在も見学、実習予定が入っているので今後も定員は維持出来ると思われる。受注作業、生産作業は作業・活動計画面欄にて記載。余暇活動もコロナの影響で計画通りにはいかなかったがバスツアーを始め出来る範囲内で工夫して実施出来たので来年度も同様に行っていく。社会人マナーも新たなシステムで開始したので改善、実施を積み上げていく。一般就労体験については、昨年度同様カフェ勤務以外の予定は、ほとんど実施出来なかった。コロナの様子を見ながら来年度には法人内体験、レインボーワーク主催の見学会等に積極的に取り組んでいきたい。

農福連携は、新たな可能性を秘めている取り組みで、連携農家さんもかとちゃんファーム、加藤農園と2件に増えた。受注的要素と生産的要素両面を兼ね備えているので通信販売を含めて今後も積極的に取り組んでいきたい。

関係機関等の面では、これまでの関係性を維持し更に積み上げていく。コロナ禍の影響で特別支援学校の実習の中止もあったの一般希望も含め今後も積極的に受け入れていく。就労面についても利用者の希望等を主に年間1名程度は就労させていきたい。

オリジナルの食品加工のすまいる・ハチミツがねりコレに認定されたことによる、さらなる周知と販売力に勢いが出ることを期待したい。販売会でも食品と雑貨衣類が両方あると人の目を引きやすい

そして来年度は、新たな移転先での運営となるので、新型コロナウイルス対策を含め、これまで以上の環境設定や作業・活動の充実を整え利用者支援を行っていきたい。

## コミュニティカフェ社会貢献事業

### 令和3年度 みんなのカフェ すまいる・VIVIFY 事業報告

#### 事業目的

VIVIFY の意味合い「人を生き生きさせる」「輝かせる」「生気を与える」というように地域みんなが生き生きと笑顔で暮らせることを願い、カフェを通じて地域住民同士の触れ合いの場、一人一人が自分の時間としてゆったり過ごせる場所であり、公益事業として申請をしたことにより、地域住民に対する貢献的な働きを求められている。

営業日 年中無休（11時～17時） 土日祝 12時～17時半

\*令和元年度より、年中無休として、地域への周知と共に、お客様を増やす努力をした。結果売上も上昇であったが、令和2年度以降新型コロナウイルスによる休業等や対策で売り上げは低迷した。地域のニーズに応えるために、飲食店が休業などしている中でも継続して年中無休で営業した。



イベント当日はドリンクメニューを学生支援団体が材料も購入し、自分たちで作って提供するスタイルとした。ドリンクメニューの売り上げを団体として使ってもらうことにした

販売ドリンク数→83杯

売り上げ金額→37450円

学生応援のイベントとして継続していく予定

写真：3月に実施した学生支援団体「はじまりの場所」とのイベントの様子

#### 実施内容

##### ドリンクと食事の提供

ドリンク（ホット）メニュー7種 ドリンク（アイス）メニュー5種 アルコールは中止とした

食事メニュー フランクフルト、ワッフル、トルティーヤチップス

隣のピーターパン（パン屋）とカシュカシュ（ケーキ屋）の商品（飲み物以外）の持ち込みを可とする。

パンは温めサービスを実施、ケーキもお皿とフォークを提供する。

\*セットをやめて、フードをすべて単品にすることによって、注文が増えた。テイクアウトも良好。

#### 新たな取組

\*牛乳をオーガニック豆乳に50円アップで変更できるようにした。

\*すまいる・フォレストの作る食品加工ではちみつシリーズとオリーブオイルをスタートし、カフェで販売している。



伊東市の社会福祉法人クープの就労継続支援 B 型のプラウ（河合農園）との連携で行った。（農福連携）  
素材にこだわり全て有機栽培のもので作っている（有機砂糖 有機白ワイン 有機れもん 有機オレンジ）

はちみつオレンジ小 110g 600 円 大 250g1300 円

はちみつレモン小 110g 600 円 大 250g1300 円

はちみつナッツ小 110g 700 円 大 250g1500 円

社会福祉法人未来こどもランド 令和 3 年度事業報告 終～